



新たな出発と成長を願って

やわらかな陽ざしがそそぎ、樹木の芽がふくらみ、春の香りがただよう頃となりました。いよいよ令和元年度のしめくくりとなりました。

今年の春は、長期にわたる臨時休校を実施することとなり、だれも経験したことの無い心配な状況にあります。新型コロナウイルスの拡大防止の取組を注意深く続けるとともに、病気にかかり不安な毎日を過ごしておられる方々へのお見舞いと一日も早い回復をお祈りいたします。

このような状況の中ではありますが、本校では、23日に卒業証書授与式を挙げる運びとなりました。卒業生34名が小学校生活の数多くの思い出と実り多い成果を残して、未来へ向かって、力強く巣立ちます。卒業生の前途を心から祝福するとともに、保護者、ご家族、地域の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

また、翌24日には、1年生から5年生までの197名がそれぞれの学年の課程を修了し、自分の成長を実感しながら、みんなそろって次の学年へ進級します。こうして晴れの日をみんなといっしょに迎えることができ、こんなにうれしいことはありません。

学校では、本年度、教育目標達成のため、仲間や教師と共に学び、育つことのできる学校、実感を持って学び、育つことのできる学校、「学び手としての児童」を育てる学校をつくろうと様々な教育活動に取り組んでまいりました。

自ら学ぼうとする意欲や学力の向上、豊かな人間性の育成、安全や食の指導をはじめ基本的な生活習慣の確立等、PTAや地域の方々にさまざまな場面でお世話になって、豊かな心をはぐくみ、ともに生きる力を身に付ける数々の取組を行ってまいりました。

子どもたちが成人して社会で活躍するころには、日本は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されます。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間のない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化していて、予測が困難な時代となっています。しかし、社会がどんなに変化しても、人として大切なことは変わらないはずで、思いやりの心や支え合う気持ちを持ち、夢や希望をもつことの大切さを味わい、自分を見失わず、くじけず、粘り強く成長を続けてほしいと願っています。



あとになりましたが、自治会長様をはじめ地域の皆様、PTA会長様をはじめ保護者の皆様には、温かいご理解と多大なご支援をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。ここに感謝を申しあげ、年度末のご挨拶とさせていただきます。



校長 藤原 佳弘
教職員 一同